

# 公文書館と歴史研究

公文書館施設においては、公文書を管理・公開する意義として、市民への説明責任や後世への知的資源を残していくことなど、その重要性を繰り返し訴えてきているところです。また、このことにより、公文書に残された過去の様々な行政事例を現在及び将来の政策立案の参考とすることも期待できます。

しかしながら、現状としては、情報公開制度により現用文書が利用されることは見受けられますが、歴史的公文書を活用して過去の行政行為に目を向けて検証、研究しようとする動きは残念ながら行政内部も含めてあまり目立たないように感じられます。

また、外交文書等の公開やそこに記された事実の発見がニュースになるなど、歴史的な公文書の重要性は認識されているにも関わらず、まだ一般の認知度は高くないと言わざるを得ません。

今回は、研究者の立場から、公文書及び公文書館の価値とその利活用について御講演をいただきます。

**日時：**平成 29 年 5 月 9 日 ( 火 ) 14 時 30 分 ~ 16 時 30 分

**会場：**横浜市旭区中尾 1-6-1

神奈川県立公文書館 2階大会議室

**講演者：**大西 比呂志氏 ( フェリス女学院大学教授 )

**参加費：**無料 ( 非会員の方でもご参加いただけます )

**申込み：**不要 ( 当日、会場受付にお越しください )

※ 講演会に関する情報は、県立公文書館ホームページでもご覧いただけます。

(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/>)

問合せ先

神奈川県立歴史資料取扱機関連絡協議会 (事務局：神奈川県立公文書館内)

〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-6-1 ☎(045)364-4463